

報道関係者各位

「仮設住宅×緑のカーテン」プロジェクト

NPO法人緑のカーテン応援団は、此度の東日本大震災による仮設住宅3万戸に「緑のカーテン」を設置し、電気使用量を軽減しながら仮設住宅の温熱環境を改善します。2011年7月迄に1000戸、2012年7月迄に15000戸、2013年7月迄に30000戸設置予定。

<目的>

1. 仮設住宅居住者の居住環境を改善すると同時に気持ちを前向きに

仮設住宅に入居される被災者の皆さまの心の中では、否応なく地震や津波の記憶、愛する人を失った悲しみが繰り返されることでしょう。そのままでは、前を向き、希望を持って歩いていく気持ちになりにくいのではと、私たちは気がかりでなりません。緑には人の心を癒す力があります。小さな種から芽が出て日に日に成長し、いつしか窓辺をおおう緑のカーテンは育てる人の心に小さな喜びをもたらしてくれます。

また、共に育てることで、コミュニティ内の共通の話題ができ、互いの会話が増えることは、商店街の取組などでも実証済みです。体の不自由な方がいらっしゃれば、代わりに水やりをしたり、育て方の情報交換をしたり、自然に声を掛け合い助け合うようになっていくことでしょう。緑のカーテンには、人と人をつなぐ力があります。

今夏は、大幅な電力利用制限が実施される見通しです。仮設住宅の設計は、強い日射を防ぐ庇もなく、住宅の温熱環境として良好とはいえません。新潟中越地震の際建てられた山古志村の仮設住宅では、エアコンがほとんど効かず、大変暑かったということです。さらに被災地の皆さんの心境を察すれば、エアコンが設置されていたとしても、呑気にそれを使うとは考え難い。こうした気持ちを押し量り、NPO法人緑のカーテン応援団が緑のカーテンづくりのワークショップ形式による設置を行い、実際に涼しさを体験し、この夏を少しでも心地よくすごしていただきたいと願っております。

2. 「日本の夏支度」のご提案

「仮設住宅×緑のカーテン」プロジェクトを日本全国に広く発信します。今後、電力供給量の増産は見込めず、電力利用制限は継続的に実施されると思われます。夏場の電力使用の多くはエアコン利用によるもの。緑のカーテンの効果により、体感温度を下げ、無理なく楽しくエアコン利用による電力使用量を削減することができます。この手法を日本全国に情報発信します。

仮設住宅と共に日本中で緑のカーテンを作り、かつての日本では誰もが行っていた夏支度（夏を迎える準備）を行うのです。このライフスタイルの緩やかな変換は、将来的な民生部門のエネルギー使用量を減らす具体的かつ効果的な行動となるはずです。

<寄付活動>

「仮設住宅×緑のカーテン」プロジェクトは、NPO法人緑のカーテン応援団単体の活動ではなく、多くの企業や国民にご参加いただくプロジェクトとしたいと考えています。本プロジェクトの目標である30000戸の緑のカーテンを達成するには、約1.5億円分の資材又は資金、そして多くのボランティアスタッフの力が必要です。本プロジェクトの意義や目的をご理解いただける国民の皆さまと共に、本プロジェクトを成功させたいと考えています。

<活動工程>

- ・ 2011年5月第2週 旧埼玉県立騎西高等学校への緑のカーテンワークショップ及び設置
* 募集したボランティアへの研修も同時開催
- ・ 2011年6月第1週 福島県の一部：緑のカーテンワークショップ及び設置
以下、電話及びメールでの育成フォローサービスの開始
- ・ 2011年6月第2週 宮城県の一部：緑のカーテンワークショップ及び設置
- ・ 2011年6月第3週 岩手県の一部：緑のカーテンワークショップ及び設置
- ・ 2011年8月上旬～9月上旬 緑のカーテン完成予定&イベントの企画

<NPO法人緑のカーテン応援団概要>

1. NPO法人緑のカーテン応援団は、2003年から、小学校の総合的な学習の時間を舞台に、「自分たちの学校は、自分たちで涼しくしよう！」というテーマのもと、学校で緑のカーテンに取り組む活動を通じて環境問題、食育、熱環境緩和など幅広い分野における今日の課題を学びながら実践することを目的に活動しています。学校でも、家庭でも、地域でも地球温暖化防止活動に貢献できる学びを提供し、「緑のカーテンハンドブック」を通じ、日本全国へ緑のカーテンを広げています。

緑のカーテンとは、ゴーヤーや朝顔などのつる性植物を窓の外側に育て、室内に入る夏の日差しを遮ることで、室内での体感温度を抑え、エアコンに頼ることなく楽しく快適に夏を過ごす住まい方の工夫です。冷房にかかる電気代を抑制することにより電気にかかるCO2の排出も抑え、低炭素社会づくりにもつながります。

緑のカーテンの歴史は、江戸時代まで遡るといわれ、江戸長屋の軒先にシュロ縄でアサガオを吊るし、品質改良を楽しむと同時に、涼を得たということです。

また、日本三大随筆と言われる徒然草（吉田兼好著）には「家のつくりやうは夏を旨とすべし」とあり、日本では僅かな涼を得るための努力を、西暦1300年から行っていることが記述されています。

2.全国緑のカーテンフォーラムを開催

いずれのフォーラムでも、緑のカーテンの育て方や、微気候を作り体感温度をコントロールすることの快適さ、その知を学ぶ楽しさを伝えています。教育をテーマとしたフォーラムでは、緑のカーテンの教育的な価値や総合的な学習の時間での効果的な展開を提案しています。以下、実績。

第一回全国緑のカーテンフォーラムin那覇（2008年3月開催）

第二回全国緑のカーテンフォーラムin東京板橋（2009年4月開催）

第三回全国緑のカーテンフォーラムin甲府（2010年3月開催）

第四回全国緑のカーテンフォーラムin京都（2010年7月開催）

第一回緑のカーテン東京フォーラムin池袋（2011年3月、震災により自粛）

第五回全国緑のカーテンフォーラムin浜松（2011年8月開催予定）

第六回全国緑のカーテンフォーラムin三郷（2012年夏、開催予定）

－ このリリースに関するお問合せは下記まで －

NPO法人 緑のカーテン応援団 事務局長 菅原浩一

TEL 03-3972-0607（株リブラン内） 携帯090-5407-6066

Emai : koichisugahara@livlan.com

<http://www.facebook.com/midorinocurtain.kasetsu30000project>

<http://www.midorinoka-ten.com>